

発行／出雲市経済環境部環境政策課減量推進係 E-mail:kankyou-seisaku@city.izumo.shimane.jp

〒693-8530 出雲市今市町70

☎0853-21-6988

FAX 0853-21-6597



心配した天気も回復し、いざ出発！

「ごみ」を  
知れば「ごみ」  
が減る！

出雲エコなび  
バスツアー開催！



アルミのインゴット！アルミ缶8個で作れる  
そうですよ。・・・インゴットって何！？

# TOPICS! 出雲市



## ごみ処理施設見学 出雲エコなびバスツアー を開催しました!!

あなたの  
エコアクションを  
ナビゲート!



平成28年1月27日(水)に、市内のごみ処理施設を見学する「出雲エコなびバスツアー」を開催しました。

平成23年度までは順調に減っていた本市のごみですが、24年度以降は増加傾向となってしまう。この現状を打開し、ごみダイエットを進めるため、特別企画!! (^\_^) / として開催したものです。

今回、広報いずもなどで募集を行ったところ、仲のいいお友達同士や、環境問題に熱心に取り組んでいる方など、26名の方に参加していただきました。当日は、1月末の厳しい寒さの中ではありますが、みなさんの期待を背負い、いざ出発です!

### ○出雲クリーンプラザでの資源ごみ、破碎ごみ、埋立ごみ処理施設

早速最初の見学先である、出雲クリーンプラザでは、まず、缶・びん・ペットボトルのリサイクルについて、三島センター長から説明を受けました。中でも、クリーンプラザから出荷されたアルミ缶で作った「インゴット」を見たときには、みなさんから「ほー」と感心の声があがりました。『リサイクルしますよ。』と聞いてはいるものの、自分たちが分別して出している資源ごみが、実際に原料になっているのを見るとやはり感動しますよね。「自分たちの手間暇は無駄じゃなかった!」と感じた瞬間だったのかなと思います。



左奥にブロックになった紙が見えます。

### インゴットとは

溶かした金属または合金を鑄型に流し込んで固めたもの。鑄塊(ちゅうかい)。

デジタル大辞泉 < <https://kotobank.jp/dictionary/daijisen/> >  
(2015.3.28 アケ入)



続いて、出雲リサイクルセンター、出雲クリーンセンターの見学では、空き缶を機械で押しつぶす様子、びんを機械が色別に仕分ける様子や、不適切なびんを手作業で取り除く様子。また、紙をリサイクル工場へ出荷するための準備や、クリーンセンターで破碎ごみを処理する様子なども見学しました。いずれもルールを守ってごみを出さなければ、無駄な作業が必要になります。作業をする方の苦勞を考えると、正しい分別がいかに大切か感じていただく事ができたのではないのでしょうか。



埋立処分場は臭いもなくクリーンです！

ほかにも、神西一般廃棄物埋立処分場の様子なども見学しました。現在はリサイクル品目も増え、さらにはごみ処理技術も進歩したおかげで埋め立てるごみも減り、当初想定された埋立処分場利用可能年数は大幅に延びているそうです。ごみ減量効果はこんなところにも表れるんですね。公共施設である埋立処分場を長く使うことができれば、その分、ごみ処理経費も抑えることが出来る！ごみ減量化はまさにスタイリッシュ！！

### ○出雲エネルギーセンター（可燃ごみ処理施設）



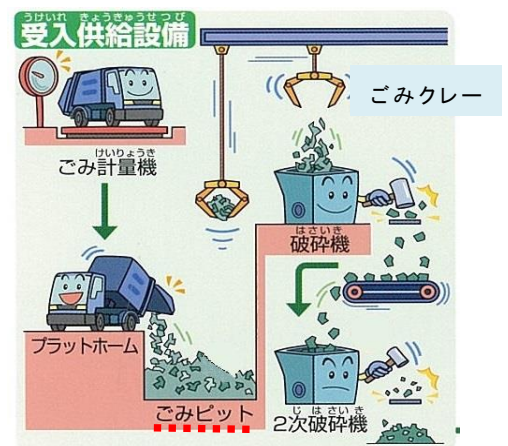
ピットにある可燃ごみの山に驚く様子の皆さん。

出雲エネルギーセンター（以下「エネセン」と省略します）では、まず「出雲市の一般廃棄物処理に関する課題」と題し、本市のごみ排出量、可燃・破碎・埋立・資源ごみごとの排出状況やどのような内容のごみが出されているかを表したごみ組成割合などの説明を受けました。

説明では、平成24年から26年までのごみ総排出量は横ばいであるものの、可燃ごみは増加し、破碎・埋立・資源ごみは減少傾向で、可燃ごみの減量化がポイントであるとのことでした。

また、可燃ごみの約20%が紙類で、そのほとんどがリサイクル可能なはずなのに燃やされてしまっていること。破碎ごみに約5%、埋立ごみにも約37%のリサイクルできるものが含まれており、これらが分別されず処分されていることが分かりました。

そして、ごみを収集したり処分したりするのに必要な経費は年々増加傾向にあり、平成19年度は一人あたり7,791円だったのが、26年度はなんと10,238円（5人家族なら51,190円！）かかったとの説明がありました。



破碎後、次の処理工程

**つまり、分別をきちんとする → リサイクルが増える → ごみが減り、処分量が減る&処理施設が長持ちする → ごみ処理経費が減る。**ということなんですね。

エネセンの施設見学で注目を集めたのは、中央制御室です。ここでは、可燃ごみの処理過程を一括して制御しています。ガラス越しですが、職員の方がたくさんの数字が並んだモニターの監視や、クレーンを操縦する様子に緊張感が伝わってきます。次に一番皆さんが興味津々だったのが、ピットを見ることが出来る場所です。ピットとは外から来たごみ収集車が最初に可燃ごみを降ろす場所ですが、可燃ごみが積み

あがって山のようにになっている様子には圧倒されます。これを見て参加者の方が「今朝、私が出したごみもここに来ているんですね。」とポツリとつぶやかれました。そうなんです！この山を作っているのは自分たちのごみなのです。とかく、『自分だけが一握りのごみ減量をして意味ないんじゃないか。』と考えがちですが、自分を含めた6万2千世帯からのごみが集まって大きな山となっているのを見ると、みんなの一握りが大きな山を小さくする第一歩であるという事を改めて感じました。

### ○クリエイト山陰(株)でのペットボトルリサイクルと産業廃棄物処分の施設見学



ペットボトルをピットに掻き込みます。

最終目的地のクリエイト山陰(株)では、市が集めた資源ごみであるペットボトルの中間処理をしています。

まずは職員の方から、ペットボトルを破砕機にかけてフレークにし、リサイクル原料として出荷していることや、主に化学繊維となり、衣類として生まれ変わっていること、などの説明を受けました。

続いて、産業廃棄物の処分場を見せていただきました。大きな機械に流れてくる廃棄物を、手作業で仕分けされていました。職員の方は「大きな機械があっても、やっぱり最後は

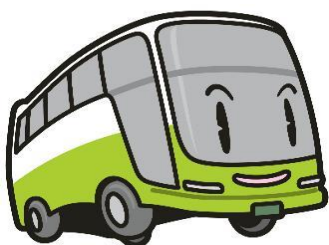
人の手で仕分けるしかないんです。」と言っておられました。あたり前ですが、仕分け作業は一般廃棄物も産業廃棄物も同じなんです。

クリエイト山陰(株)の皆様にはお忙しい中、丁寧な説明をしていただき本当にありがとうございました。

### ○まとめ

今回のバスツアーの最後に、今後の参考のためアンケートをお願いしたところ、熱心にご回答いただきました。その一部をご紹介します。

- ・ **本ツアー全体の印象については**との問いに、皆様から『大変良かった』また『良かった』との回答をいただきホッとしました（笑）。
- ・ **興味をもったところ**はという問いには多くの方が、『リサイクルセンターでの手作業での仕分けにはびっくりした。ごみの分別は一人ひとりが考えなくてはならない。』『何事もだが現場をよく見て感じる事が重要だと思った。』とお答えいただきました。まさに今回のツアーの意図した部分を参加者の皆さんに感じていただけたことが大変うれしかったです！



併せて次回のツアーに希望する点についても、多くのご意見をいただきました。今回いたらなかった点を改善しつつ、参加者の皆さんのご意見を参考に、より充実したものを開催できればと考えております。その際は、この記事を読んで興味をもたれた方はどうぞ奮ってご参加くださいね！  
(^^)/~~~~

出雲エネルギーセンターでは見学申し込みを受け付けています。

エネセンはきれいな見学コースが用意されていて、臭いを気にしたり天候に左右されることなく快適に見学ができます。今回のようなツアー以外でも、見学を受け付けていますので、興味のある方はエネセン（電話23-9225）までお尋ねください。

# 出雲高校2年生が、プラスチックごみのリサイクルについての研究発表をしました！

出雲高校では、2年前から「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」として文部科学省の指定を受け、生まれ育った地域や、国際的な社会課題をテーマとした課題研究を進めています。

この取り組みは、①客観的事実に基づいて論理的に思考し、表現する力を育て、共同研究を通じそれを深化させること、②生まれ育った地域や国際社会についての幅広く深い知識の習得に加え、国際的な社会課題を発見し、解決できる力を養うこと、③様々な経験から獲得した知識を融合させ、世界の持続的発展に向けた創造的提案を行うとともに、それらを実際の行動に結びつけ、実践できる力を養うこと、をねらいとしており、将来的には地域・社会のリーダーとして貢献できる人材を育成しようとする



取り組みです。生徒達は数人のグループに分かれ、テーマは先端科学から政治経済、地域文化など様々ですが、自分たちの身近なモノを題材に、また、出雲市の課題や国際的な社会問題に至るまで、幅広く取り組んでいます。

今回、2月10日（水）に出雲市民会館で行われた「課題研究」の成果発表会にお邪魔しました。テーマの一つ「環境・エネルギー・食農」を課題に取り組むゼミの中で、プラスチックのリサイクルを題材に研究発表を行ったのは、男子生徒4名、女子生徒1名のグループです。研究に関わる調査の一環では、出雲市へプラスチックごみのリサイクルに関する質問もいただきました。

研究では「プラスチックごみのリサイクル率を高くするには？」を動機に、太平洋に漂う海洋ごみの海域「太平洋ごみベルト」の大部分を占める「マイクロプラスチック（微小なプラスチック）」は人体に害を与える可能性がある。その元となるプラスチック類のうち、リサイクル率の低いもののリサイクル率を高めればプラスチックごみの排出を抑える事ができるのではないかと仮説をもとに進められ、プラスチックには何故リサイクル率の高いものと低いものがあるのか。農業用ビニールの回収率はなぜ高いのか。市町村によるリサイクル率の違いが発生するのは何故か。など様々な角度から調査がされていました。

残念ながら今回の研究の中では、リサイクル率の向上には様々な課題があり、仮説による明確な答えは導けなかったようですが、生徒のみなさんには、環境に対して考えていただく良い機会となったのではないのでしょうか。



熱心に説明する生徒たち

☆太平洋ごみベルト・・・太平洋北西部、ミッドウエー環礁付近にある大量の漂流ごみが集中している海域。日本、中国、韓国などの東アジアから流れてきたプラスチックなどの難分解性樹脂が多くを占める。  
☆マイクロプラスチック・・・海洋などの環境中に拡散した微小なプラスチック粒子。海洋を漂流するプラスチックごみが太陽の紫外線や波浪によって微小な断片になったものや、合成繊維の衣料の洗濯排水に含まれる脱落した繊維などが含まれる。 デジタル大辞泉〈<https://kotobank.jp/dictionary/daijisen/>〉（2015.3.28 アケス）

ちょっと一息！

# エコなこと紹介します！



\*\*\*\*\*

## ～イベントにリユース食器を！～

### 楽しくて環境に優しいイベントスタイルのすすめ

地域で開催される夏祭り等のイベントではたくさんの屋台が並び、楽しい反面、大量のごみが排出されます。会場内でリユース食器を使った商品を買って食べることで、イベントを楽しみながらごみを出さない取り組みに協力することができます。また、主催者や出店者がリユース食器による会場限定のメニューや、ポイント交換をするなど、努力と工夫次第で**「環境に優しい気持ちのいいイベント」という新しい付加価値**をつけることができますよ。ぜひ、リユース食器を使ってみませんか！

今回は、リユース食器取り扱い業者を利用した導入の方法をご紹介します。

#### まず企画をたてよう

##### ①「リユース食器導入」の方針決定と意識共有が大切！！

企画会議で、地域の環境保全のため「リユース食器」を使うことを決定！意識共有のため出店者説明会で働きかけましょう！

##### ②スケジュールをつくろう！

関係者との調整や人の手配など、早めの準備が大切！

##### ③責任者がいると安心！

イベントの実行委員長とは別に、関係者（運営・出店者・ボランティア等）の調整をするリユース食器導入の責任者を決めましょう！

#### 導入が決まったら①

##### ①ボランティアを集めよう！

食器の仕分け・出店者への配布や、リユース食器返却所での来場者支援に人員が必要です。

##### ②「リユース食器を導入したイベント」の価値や意味をPRしよう！

チラシ、ポスターなどを作成する際には、「リユース食器」の価値や意味をアピールしましょう。当日も看板・場内アナウンスなどで周知することで混乱も防げます。

##### ③備品を準備しよう！

食べ残しを入れるザルとバケツ、会場内表示、返却所の机やイスなど、食器や資材以外に必要なものを用意します。

## 導入が決まったら② 経費を見積もろう！

①リユース食器にかかる料金を見積もる（標準的なコスト：皿・カップ、どんぶり類 26 円/点、はし・スプーン 7 円/点）

### ②紛失数を見込む

紛失した場合は「弁償 100 円/点」が必要です。

### ②送料を見積もる

配達サービス（有料）がある場合もあります。宅配になる場合は、何個口の荷物になるかリユース食器取り扱い業者に確認し、往復の宅配便料金を見積ります。

※出雲市では、リユース食器の無料貸し出しを実施しています。詳しくは環境施設課

電話 21-6988 へお尋ねください。（注）ただし、洗浄して返却していただく必要があります。

## リユース食器導入に伴う費用の負担について

費用の負担には、①実行委員会が負担、②実行委員会と出店者が負担、③環境に理解のある地元企業の協賛金を得る。方法などがあります。

## リユース食器 Q & A

Q 1. リユース食器の衛生管理はどうなっているの？

A 1. リユース食器は繰り返し使用することから、きちんとした衛生管理が必要です。リユース食器ネットワークでは、自主ガイドラインを制定しており、ネットワークに加入している業者は、自主ガイドラインに準じた洗浄・保管方法で衛生管理を行っています。

よって、ネットワークに加入している業者から借りた場合、イベント主催者で食器を洗う必要はありません。

### —自主ガイドライン例—

予備洗浄→洗浄・すすぎ（高圧洗浄機を使用）→乾燥（熱湯消毒 温度 80℃、5 分以上熱風乾燥）  
→検品・梱包（1 点ごとに検品）→配送（注文に応じて、ふたつきのコンテナボックスで配送）

～リユース食器ネットワークに加入している近隣の業者～

社会福祉法人養和会 エポック翼 〒683-0804 鳥取県米子市米原 1460-7

TEL: 0859-36-2005 FAX: 0859-36-2007 ※山陰で唯一のリユース食器取扱業者です。（平成 27 年 3 月現在）

Q 2. リユース食器の商品がたくさん売れて、楽しく使われるにはどうしたらいい？

A 2. 来場者の強いニーズは、イベントを楽しむことなので、例えばリユース食器を使ったお店を会場内ポイントラリーの対象に加えるなど、リユース食器を会場で楽しむことができる企画があると、出店業者の販売傾向上もごみの減少も実現できます。

今回紹介したリユース食器貸出し制度については、下記にお問い合わせください。

島根県環境生活部環境政策課低炭素・循環型社会推進スタッフ「リユース食器」担当あて

電話：(0852)22-6443、FAX：(0852)25-3830

# お知らせ～information～



## 古着を回収します。

ごみの減量化とリサイクルの推進のため、古着の回収を実施します。

### 4月から9月末までの 回収日時と回収場所

**(注意) 祝日はお休みします。また、今までと回収  
時間が変更になっています。**

支所窓口・コミセン窓口では受け取れません。分類や出し方に条件があるため、中身や状態を確認のうえ回収しています。必ず次の回収日時・場所にお持ちください。

毎月第1木曜日 午前 9時30分～午前10時15分：平田支所駐車場

午前10時45分～午前11時30分：大社支所駐車場

毎月第2木曜日 午前 9時00分～午前10時00分：四絡コミュニティセンター北側駐車場

毎月第3木曜日 午前 9時30分～午前10時15分：湖陵支所駐車場

午前10時45分～午前11時30分：佐田支所駐車場

回収できるもの	回収できないもの
<ul style="list-style-type: none"><li>○ジャケット、スーツ、コート等</li><li>○Tシャツ・ポロシャツ等</li><li>○肌着・ブラウス等</li><li>○スラックス、ジーンズ等</li><li>○ワンピース、スカート等</li><li>○ジャージ、トレーナー</li><li>○スウェット、セーター</li></ul>	<p>ハギレ、作業服、和服・着物、下着類、布団類、カーテン、カーペット、じゅうたん、学生服、武道着（剣道着、柔道着など）、かばん、くつ、ベルト、クッション、トイレカバー、靴下、みみあて、帽子類、ガウン、スキーウェア、つなぎ、カッパ、白衣、座布団カバー、野球のユニフォーム、雨合羽、ゴム製品 など</p>

### 水濡れ厳禁！

透明なビニール袋に入れて、回収場所まで持ってきてください。

### 注意！

- ①持ち込む衣類は、洗濯やクリーニング済みの清潔なものに限ります。
- ②汚れやシミのあるもの、臭いのあるものは受け取れません。
- ③破れていたり、切ってある衣類は受け取れません。補修済みでも受け取れません。
- ④ファスナーやボタンが壊れていたり、無くなっていたりするものは受け取れません。
- ⑤名前入りの衣類は受け取れません。名前を切り取って穴が開いた衣類も受け取れません。